



# 予算特集号

## 市民の皆さまへ

市民の皆さまには、日ごろ市政全般にわたりご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。新年度を迎え、各事業のスタートに合わせて、今年度も「予算特集号」を作成しましたのでお届けいたします。ご覧いただき、一層のご協力とご提言をお願い申し上げます。



はじめに、3月11日に東北地方太平洋沖を震源地とする大地震が発生しました。今回の震災は未曾有の被害をもたらし、壊滅的状况の地域も数多くあります。被災地の方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復興を祈念しております。南魚沼市でも現在、避難者の受け入れや職員の派遣を行っておりますが、今後もできる限りの支援をしていくつもりでありますので、ご理解を頂きますようお願い申し上げます。

さて、平成20年秋の世界的な金融恐慌以降急速に落ち込んだ、国の雇用・景気の状態はここに来て一定の持ち直しが見られたものの、急速な円高の進行や海外の政情不安などの要素に加え、先に発生した大震災の影響もあり依然として厳しい状況が続いていくものと思われます。当市においても、製造業を中心に市民の雇用・景気情勢は厳しい状況が続いています。また、市の財政状況は平成18年度から5か年計画で取り組んできた財政健全化計画では目標額を達成する見込みであり、徐々に改善されてきてはいますが、実質公債費比率は依然「県下ワースト1」であり、引き続き改善の取り組みが必要となっております。

こうしたなかで、平成23年度予算編成に臨んだわけですが、これらの状況を克服し「希望あふれて伸びるまち・南魚沼市」の実現のためには、市民と行政が知恵と力を結集して、当地域の活力を増幅させていく必要があると考えております。

そこで、先に述べたように雇用情勢が依然として厳しい状況であることから、補助金を活用した各種の雇用創出事業により雇用の拡大を目指すとともに、「住宅リフォーム事業」、「南魚沼の木で家づくり事業」など、市独自の雇用を「創る」事業に取り組みます。また、前年度に引き続き、消防庁舎改築事業を進めるとともに、中越大震災の教訓を活かした防災広場の整備や、新たに観光交流の拠点として今泉博物館の改修を含む周辺施設を道の駅として整備を行うなど、雇用・景気対策に配慮した予算編成を行いました。

詳しい事業内容は次項以下に述べますが、市民の皆さまの生活重視と市政発展に向け最大限配慮したところであります。財政健全化に引き続き留意し、四季折々の自然がくっきりと美しいこの地で、「自然・人・産業の和で築く安心のまち」を将来像として、職員一丸となって、市民の負託に応えてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

南魚沼市長

井口一郎

平成23年度 南魚沼市の当初予算額 総額

一般会計 + 特別会計 + 公営企業会計

# 566億4,507万円

～前年度比、約0.2%（1億1,177万円）増～

（※数字は端数調整してあるため合計額が一致しない場合があります）

## 各会計別予算

会 計		平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増減額 (A) - (B)	増減率%	
一般会計		298億8,500万円	299億4,500万円	△6,000万円	△0.2	
特別会計	国民健康保険特別会計	63億9,200万円	61億1,690万円	2億7,510万円	4.5	
	介護保険特別会計	52億8,280万円	51億960万円	1億7,320万円	3.4	
	老人保健特別会計		85万円	△85万円		
	後期高齢者医療特別会計	4億6,540万円	4億7,050万円	△510万円	△1.1	
	城内診療所特別会計	4億6,220万円		4億6,220万円		
	下水道特別会計	53億8,250万円	61億3,600万円	△7億5,350万円	△12.3	
	小 計	179億8,490万円	178億3,385万円	1億5,105万円	0.8	
公営企業会計	水道事業会計	収益	26億8,116万円	21億8,486万円	4億9,630万円	22.7
		資本	20億9,819万円	21億5,938万円	△6,119万円	△2.8
		計	47億7,935万円	43億4,424万円	4億3,511万円	10.0
	病院事業会計	収益	37億6,960万円	41億9,638万円	△4億2,678万円	△10.2
		資本	2億2,622万円	2億1,383万円	1,239万円	5.8
		計	39億9,582万円	44億1,021万円	△4億1,439万円	△9.4
小 計	87億7,517万円	87億5,445万円	2,072万円	0.2		
全会計合計		566億4,507万円	565億3,330万円	1億1,177万円	0.2	

※老人保健特別会計は、平成22年度で廃止しました。

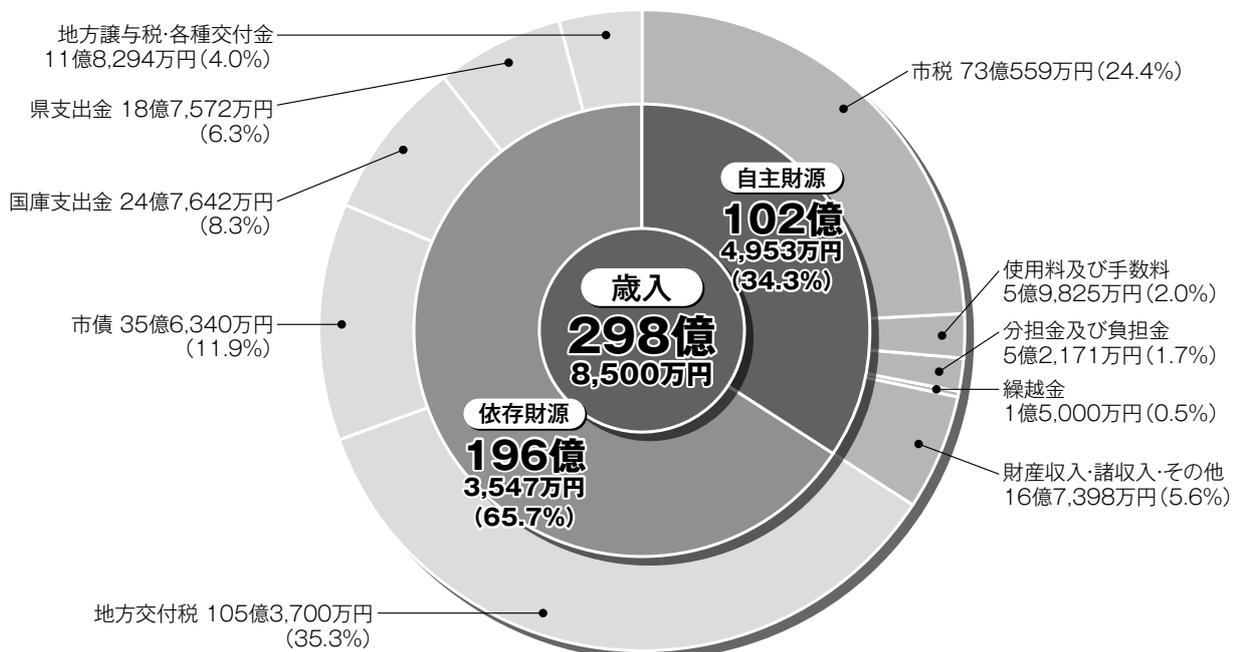
※城内診療所特別会計は平成23年度から新設しました。

※水道事業会計と病院事業会計は歳出ベースです。

# 一般会計歳入の概要

(※数字は端数調整してあるため合計額が一致しない場合があります)

款	23年度予算額	22年度予算額	増減額	増減率 %	23年度 構成比%	22年度 構成比%
1 市税	73億559万円	71億5,492万円	1億5,067万円	2.1	24.4	23.9
2 地方譲与税	3億5,000万円	3億5,200万円	△200万円	△0.6	1.2	1.2
3 利子割交付金	1,580万円	1,680万円	△100万円	△6.0	0.1	0.1
4 配当割交付金	570万円	210万円	360万円	171.4	0.0	0.0
5 株式等譲渡 所得割交付金	170万円	130万円	40万円	30.8	0.0	0.0
6 地方消費税 交付金	6億2,500万円	5億9,710万円	2,790万円	4.7	2.1	2.0
7 自動車取得税 交付金	7,050万円	8,570万円	△1,520万円	△17.7	0.2	0.3
8 地方特例 交付金	1億424万円	1億357万円	67万円	0.6	0.4	0.3
9 地方交付税	105億3,700万円	99億7,100万円	5億6,600万円	5.7	35.3	33.3
10 交通安全対策 特別交付金	1,000万円	1,050万円	△50万円	△4.8	0.0	0.0
11 分担金及び 負担金	5億2,171万円	5億4,611万円	△2,440万円	△4.5	1.7	1.8
12 使用料及び 手数料	5億9,825万円	6億1,801万円	△1,976万円	△3.2	2.0	2.1
13 国庫支出金	24億7,642万円	22億2,601万円	2億5,041万円	11.2	8.3	7.4
14 県支出金	18億7,572万円	21億1,597万円	△2億4,025万円	△11.4	6.3	7.1
15 財産収入	6,670万円	1億9,414万円	△1億2,744万円	△65.6	0.2	0.6
16 寄附金	2千円	2千円	0円	0.0	0.0	0.0
17 繰入金	6,374万円	6,851万円	△477万円	△7.0	0.2	0.2
18 繰越金	1億5,000万円	1億円	5,000万円	50.0	0.5	0.3
19 諸収入	15億4,354万円	16億9,827万円	△1億5,473万円	△9.1	5.2	5.7
20 市債	35億6,340万円	40億8,300万円	△5億1,960万円	△12.7	11.9	13.6
計	298億8,500万円	299億4,500万円	△6,000万円	△0.2	100.0	100.0



## 歳出の概要 (目的別)

(※ 数字は端数調整してあるため合計額が一致しない場合があります)

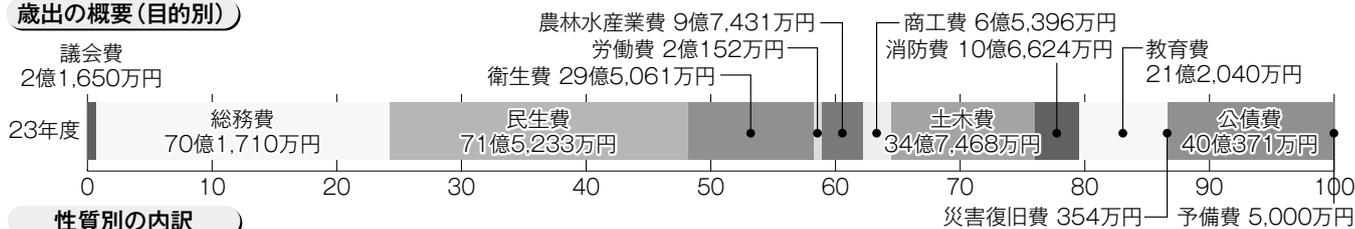
款	23年度予算額	22年度予算額	増減額	増減率 %	23年度構成比%	22年度構成比%
1 議会費	2億1,650万円	1億5,160万円	6,490万円	42.8	0.7	0.5
2 総務費	70億1,710万円	70億7,580万円	△ 5,870万円	△ 0.8	23.5	23.6
3 民生費	71億5,233万円	61億9,713万円	9億5,520万円	15.4	23.8	20.7
4 衛生費	29億5,061万円	36億2,541万円	△ 6億7,480万円	△ 18.6	9.9	12.1
5 労働費	2億152万円	3億6,838万円	△ 1億6,686万円	△ 45.3	0.7	1.2
6 農林水産業費	9億7,431万円	10億581万円	△ 3,150万円	△ 3.1	3.3	3.4
7 商工費	6億5,396万円	6億3,761万円	1,635万円	2.6	2.2	2.1
8 土木費	34億7,468万円	33億1,003万円	1億6,465万円	5.0	11.6	11.1
9 消防費	10億6,624万円	8億4,301万円	2億2,323万円	26.5	3.6	2.8
10 教育費	21億2,040万円	25億6,817万円	△ 4億4,777万円	△ 17.4	7.1	8.6
11 災害復旧費	354万円	1,343万円	△ 989万円	△ 73.6	0.0	0.0
12 公債費	40億371万円	40億9,852万円	△ 9,481万円	△ 2.3	13.4	13.7
13 諸支出金	10万円	10万円	0円	0.0	0.0	0.0
14 予備費	5,000万円	5,000万円	0円	0.0	0.2	0.2
計	298億8,500万円	299億4,500万円	△ 6,000万円	△ 0.2	100.0	100.0

## 性質別の内訳

(※ 数字は端数調整してあるため合計額が一致しない場合があります)

款	23年度予算額	22年度予算額	増減額	増減率 %	23年度構成比%	22年度構成比%
人件費	58億933万円	58億4,296万円	△ 3,363万円	△ 0.6	19.4	19.5
物件費	38億6,079万円	37億1,933万円	1億4,146万円	3.8	12.9	12.4
維持補修費	11億8,929万円	12億7,682万円	△ 8,753万円	△ 6.9	4.0	4.3
(維持補修費のうち除雪費)	(7億7,906万円)	(8億3,245万円)	(△ 5,339万円)	(△ 6.4)	(2.6)	(2.8)
扶助費	41億7,774万円	35億5,307万円	6億2,467万円	17.6	14	11.9
補助費	29億6,440万円	27億3,323万円	2億3,117万円	8.5	9.9	9.1
建設事業費	37億5,325万円	47億9,620万円	△ 10億4,295万円	△ 21.7	12.6	16.0
(建設事業費のうち普通建設費)	(37億4,971万円)	(47億8,278万円)	(△ 10億3,307万円)	(△ 21.6)	(12.5)	(16.0)
(建設事業費のうち災害復旧費)	(354万円)	(1,343万円)	(△ 989万円)	(△ 73.6)	0.0	0.0
公債費	40億7,871万円	42億252万円	△ 1億2,381万円	△ 2.9	13.6	14
積立金	100万円	100万円	0円	0.0	0.0	0.0
投資及び出資金	60万円	60万円	0円	0.0	0.0	0.0
貸付金	2億1,630万円	2億7,962万円	△ 6,332万円	△ 22.6	0.7	0.9
繰出金	37億8,359万円	34億8,964万円	2億9,395万円	8.4	12.7	11.7
予備費	5,000万円	5,000万円	0円	0.0	0.2	0.2
計	298億8,500万円	299億4,500万円	△ 6,000万円	△ 0.2	100.0	100.0

### 歳出の概要 (目的別)



### 性質別の内訳



# 平成23年度の主要施策

## 雇用対策

- ふるさと雇用再生事業 4つの委託事業により10人の雇用を計画
- 緊急雇用創出事業 失業者を対象に市直接、又は委託事業により12人の雇用を計画
- 重点分野雇用創出事業  
農作物被害対策、未利用木質バイオマス活用の分野で委託事業により16人の雇用を計画
- 地域人材育成事業  
働きながら技術を習得し就職を目指す事業で、介護、観光、農業の分野で30人の雇用を計画

## 医療・福祉の充実

- 総合的保健医療体制整備事業  
「魚沼基幹病院（仮称）」建設に伴う地域医療再編のため、「六日町病院」と「ゆきぐに大和病院」の建物利用や医療提供体制検討のための調査を行う
- 塩沢老人福祉センターの融雪施設工事



ゆきぐに大和病院

## 子育て環境の充実

- 子ども・妊産婦医療費助成事業
- 子ども手当支給事業
- 六日町認定こども園（仮称）整備事業補助金

## 教育・文化・スポーツ環境の充実

- 子ども・若者育成支援事業  
子ども・若者育成支援推進法の施行に伴い、子ども・若者育成支援センターを設置し、社会環境の悪化やニート、引きこもり、不登校などの対策を行う
- 市民の文化スポーツ奨励棚村基金運営事業  
棚村基金文化事業20周年にあたり、記念事業を実施する
- 大原運動公園整備事業  
インターハイの開催に備え、テニスコートのシェルター増設、観覧席設置工事などを行う

## 産業の振興

- 観光交流拠点整備事業（今泉博物館関連）  
今泉博物館を文化・教育施設から、観光交流拠点施設として整備・再生する



今泉博物館

## コミュニティ活動の推進

- 地域活性化支援事業交付金
- 地域活動拠点支援交付金

## 財政健全化の推進

- 職員数の減（682人→672人へ10人の減）
- 空き庁舎などの有効活用

# 第1章 保健・医療・福祉

「地域ぐるみでつくる健康・支えあう福祉のまち」

## 1 健康づくりと予防医療の推進

●基礎健診事業 1,518万円  
健康づくりの認識を高め、成人病予防と発病抑制を推進します。

●住民健診事業 8,789万円  
がんの早期発見と重症化防止に向けた検診の実施とがん予防のための意識啓発を推進します。

## 拡充

### ●予防対策事業

1億6,366万円  
疾病の発生とまん延を予防し公衆衛生の向上を図るため、法定の予防接種に加えて子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施します。

### ●国民健康保険対策費

4億9,312万円  
国民健康保険特別会計繰出基準に基づき、職員給与費、保険税の軽減分の補てん、出産育児一時金などの費用を繰り出します。平成22年度までは基金を取り崩して補填していましたが、基金が不足してきましました。

## 2 地域完結型保健医療体制の構築

で、一般会計からの法定外繰り入れによる補填を行います。  
●母子保健事業 5,502万円  
乳幼児の健全な発育、発達の支援を行うための検診を実施します。妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、健診費用の助成を行います。

## 新規

### ●総合的保健医療体制整備事業

2,210万円  
魚沼基幹病院（仮称）の開院後の医療再編に備え、既存施設の有効な利用方法を検討するために建物などの基礎的な調査を行います。

### ●医療機器等整備事業『病院会計』

5,120万円  
市立病院の医療機器などを整備し、良質な医療の提供を目指します。

### ●病院事業対策費

4億8,849万円  
ゆきぐに大和病院と城内診療所の運営を充実させるために繰出金を支出し、安全で良質な診療を提供します。

### ●休日救急診療所費

4,089万円  
日曜・祝祭日には休日救急診療所、

土曜日には在宅輪番制度による診療体制を、地域の医療機関の協力を得て運営します。

## 3 子育て支援の充実

### ●学童保育対策事業

8,377万円  
「NPO法人すまいるネット南魚沼」に11クラブ、「医療法人社団萌気会」に1クラブの運営を委託します。私立の「金城クラブ」と「わかばクラブ」の2クラブに事業委託を行い、児童の健全育成と働く親の支援に積極的に取り組みます。

### ●保育園大規模改修事業

6,270万円  
老朽化した大崎保育園の大規模改修工事を行います。24年度大規模改修工事予定の西五十沢保育園と赤石保育園について、実施設計委託を行います。

### ●保育園等施設整備事業

3億2,143万円  
老朽化している保育施設について、民間事業者と連携を図り、計画的かつ効果的に整備を行い保育環境の向上に努めるため、（学）里咲学園が開設を予定している認定こども園の施設整備費の補助と金城保育園の増築の補助を行います。

### ●子ども手当支給事業

13億5,506万円  
次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、中学校修了までの子どもを対象に手当を支給します。

## 4 障がい者福祉の充実

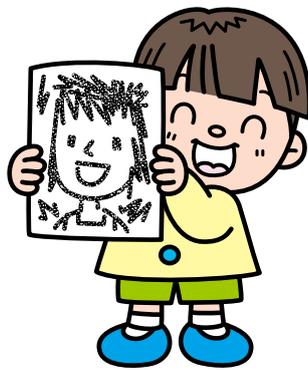
### ●心身障がい者助成事業

3,445万円  
移動困難な障がい者に、タクシー利用券などの支給と精神障がい者の入院費用についてその費用の一部を助成します。通所施設で訓練する障がい者に費用を補助し支援します。

## 拡充

### ●子ども・妊産婦医療費助成事業

1億9,999万円  
子どもの医療費について保護者の経済的負担の軽減を図るため、その一部を助成し、子育ての支援をします。妊産婦の医療費については、自己負担分全額を助成し無料化しています。



● 自立支援事業

6億4,994万円

障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス（在宅、通所、入所、補装具など）に対し給付を行います。

● 地域生活支援事業

9,012万円

地域活動支援センターでの相談と支援事業の実施、日常生活用具・日中一時支援・移動支援・小出養護学校通学バス助成費などの給付と権利擁護の推進を図り、障がい者の自立や日常生活を支援します。

5 高齢者福祉の充実

● 敬老会事業

1,607万円

長寿祝いとして米寿（88歳）に祝い状（額付）、100歳の長寿者には20,000円の祝い金、祝い状（額付）を贈呈します。また、各地区敬老会事業に対して助成を行います。

● 生活支援事業

4,585万円

要介護高齢者家族手当や高齢者など要介護住宅除雪援助などの事業費を計上し、在宅高齢者への生活支援を行います。

● 介護保険対策費

7億8,485万円

介護保険制度運営の適正な執行と制度の充実のため、介護保険特別会計へ介護サービス給付費の一部や事務費などを繰り出します。社会福祉法人が提供する介護サービスを利用する低所得者の方の経費負担を軽減するための補助を行います。

後期高齢者医療特別会計に、職員給与費、事務費と保険料の軽減分の補てんの費用を繰出します。後期高齢者医療広域連合に療養給付費の12分の1と広域連合事務共通経費を負担します。

● 後期高齢者医療対策費

7億3,105万円

後期高齢者医療特別会計に、職員給与費、事務費と保険料の軽減分の補てんの費用を繰出します。後期高齢者医療広域連合に療養給付費の12分の1と広域連合事務共通経費を負担します。

● 筋力づくり教室事業「介護会計」

246万円

介護サービスの充実とともに、要介護にならないために、介護予防が重要視されています。筋力づくりサポーター協議会などの支援を行い介護予防対策の充実を図ります。



6 地域福祉の推進

● 社会福祉協議会推進事業

4,424万円

社会福祉法に基づき、市の地域福祉の推進を図るために設立されています。

社会福祉協議会の事業費を補助します。

● 民生児童委員事業

1,424万円

地域住民の相談、支援と福祉行政への協力を職務とする民生委員児童委員の活動費を支給します。

● 生活扶助費

2億5,000万円

困窮のため最低限度の生活を維持することのできない方の生活を保障するための各種扶助を行います。

● 地域福祉計画策定事業

180万円

地域における福祉課題の共有化、取り組みの方向性と役割分担などについての計画を策定します。

第2章 教育・文化

～学ぶ喜び・文化をはぐくむ  
喜びのあるまち～

1 学校教育の充実

● 小学校施設等整備事業

4,560万円

市道の改良拡幅工事により、一部が削られる大崎小学校グラウンドの改修工事と駐車場整備工事を行います。

● 中学校施設等整備事業

9,000万円

水はけが悪く、活動に支障がある

塩沢中学校の野球場とテニスコートの改修工事を実施します。

● 六日町学校給食センター大規模改修事業

1億740万円

経年劣化した洗浄システムと蒸気配管の大規模改修を行い、給食の安定供給を図ります。

● 教育課程特例校事業

2,214万円

市内全小学校で英語教育と国際理解教育を実施します。ALTに加え国際大学留学生、国際理解教育ボランティアの協力を得て事業を実施します。

● 学級満足度向上事業

106万円

心理検査のひとつであるQU調査を全校で実施し、子どもたちの学級生活における満足度と意欲、学習集団の状態を把握するとともに、調査結果に基づき学級環境の改善と学力向上へ結び付けるよう活用を図ります。



## 2 生涯学習の充実

### ● 市民会館大規模改修事業

2億1,400万円

市民会館の機械設備（舞台照明）の改修工事を行います。

### ● 文化施設運営委託事業

7,195万円

南魚沼市文化スポーツ振興公社を指定管理者に指定し、市民会館・鈴木牧之記念館・今泉博物館の管理運営を行い、協調して文化の振興を図ります。

### ● 図書館建設事業 2,000万円

合併後の利用者増加に伴い、手狭な図書館に対し多くの要望が寄せられているため、市民が生涯にわたって学習できる環境整備のため図書館を整備します。平成23年度は基本・実施設計を行います

### ● 公民館事業

196万円

市民の生涯学習の充実を図るため、各種講座や講演会を開催するとともに、自発的な学習活動・サークル活動を支援できる環境作りに努めます。

## 3 地域・家庭教育の充実

### 新規・拡充

### ● 子ども・若者育成支援事業

1,896万円

健全な子ども・若者を育成するた

めに青少年育成センターと教育支援センターを統合し、新たに子ども・若者育成支援センターを設置して家庭教育の充実を図ります。具体的には乳幼児の保護者対象に、親子関係づくり・仲間づくりの支援や関係機関と連携して、不登校の児童、生徒へのサポート、青少年の健全育成や非行防止に努めるとともに、学校や家庭生活で抱える問題について相談事業を実施します。

## 4 地域文化の振興

### ● 坂戸城跡整備事業

1,045万円

平成24年度からの御館石垣修復整備に向けて、土地の公有化（購入）と発掘確認調査を行います。スキー場跡の植栽計画を立てるために発掘確認調査を行います。

### ● 南魚沼市郷土史編さん事業

1,533万円

六日町町史資料編2巻に続き、第1巻「先史古代、中世」の発刊作業と、六日町町史通史編、大和町史下巻の編さんのため、資料の調査、収集整理と保存作業を進めます。事業の啓発活動として古文書解説講座の開設や郷土史編さん誌「みなみうおぬま」第9号を発刊します。

### ● 重要無形民俗文化財指定取組事業

607万円

平成20年度に刊行した報告書「新潟県浦佐毘沙門堂裸押合いの習俗」をもとに、平成23～25年度にわたって映像記録を作成します。平成23年度は、受託業者を選択して映像計画やシナリオを作り、一部撮影を開始します。

## 5 生涯スポーツの推進

### ● スポーツ推進事業 700万円

スポーツを通した健康づくりや交流の拡大を図るため総合型地域スポーツクラブ「南魚スポーツパラダイス」の運営を補助し、生涯スポーツを推進します。

### ● 体育施設管理委託事業

6,827万円

市内のスポーツ施設について、指定管理者制度を活用しながら管理運営委託を行い、協調して市民の健康増進、青少年の健全育成に努めます。

### ● 体育施設整備事業

2,030万円

既設体育施設を整備し、スポーツ環境をより快適にします。浦佐体育館のトイレ新設、石打グラウンドの防球ネット新設と二日町グラウンドB面の管理棟新設を予定しています。

## 6 野外・環境教育の推進

### ● 教育改革推進事業

1,627万円

緑の少年団活動、ビオトープ整備活動、花・野菜・稲栽培学習活動など学校が主体的に創意工夫し、特色を生かした活動に助成します。

## 第3章 環境共生

～豊かな自然とともに生き、100年後の子どもたちのために引き継いでいくまち～

### 1 自然環境の保全と活用

### ● 森林整備地域活動支援交付金事業 310万円

森林施業の実施に不可欠な施業実施区域の明確化作業や作業歩道の整備などの地域活動に対する支援を行います。

### 2 循環型社会の創造

### ● ごみ減量化推進事業

395万円

分別の徹底により資源ごみの回収を推進します。古紙の拠点回収を拡大するほか、ごみステーションの整備や生ごみ処理機の購入などに補助を行います。

### 3 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換

#### ● バイオマス活用事業 100万円

バイオマスタウン構想における地球温暖化の防止、循環型社会の形成などの構想実現に向けての事業を行います。

#### ● カーボンオフセット制度活用事業 173万円

市が行う造林事業によって吸収されるCO<sub>2</sub>を新潟県J-VER制度に登録し、CO<sub>2</sub>の削減を図り地球温暖化対策を図ります。

### 4 生活環境の向上

#### ● 公害等対策事業 337万円

地盤沈下を抑制するための対策として、地盤沈下区域の市施設消雪パイプに節水型降雪感知器の設置を行います。

の一筆地調査と測量を実施します。四十日地区（大杉・奥・西・四十日・四十日新道）については、平成22年度に現地調査した成果の認証を実施します。

#### ● 都市計画調査事業 1,300万円

市内全域の都市計画用途地域と道路の見直し作業を継続して実施します。

#### ● 大原運動公園整備事業 7,717万円

大原運動公園整備検討委員会が策定された基本構想に基づき、運動公園の機能充実に向けた施設整備を進めます。平成23年度は、平成24年度のインターハイの開催に向けてテニスコートの休憩所の設置工事などを行います。

### 2 交通体系の整備

#### ● 道路新設改良事業 5億1,334万円

安全・安心な交通確保のため、市内交通ネットワーク道路の整備を進めます。

#### ● 街路新設改良事業 1億1,880万円

街路事業として市道2路線の整備を進めます。

#### ● バス運行事業 6,444万円

公共交通の要である路線バス運行

への補助と、公共交通空白地域における公共交通としての市民バスを運行します。

### 3 ひつじやさいにまちづくり

#### ● 交通安全交付金事業 1,200万円

国の交付金を財源として、交通安全施設（区画線、ガードレールなど）の維持管理を実施します。

#### ● 除雪機械整備事業 9,600万円

市道の効率的な除雪の実施に向け、4台の除雪機械を更新します。

#### ● 流雪溝整備事業 800万円

六日町中心市街地192ヘクタールを計画区域として整備計画が策定されていますが、今までの豪雪状況に対応する運営実績から、計画区域内を充足するには必要水量が不足するため、水利権の拡大や区域内の有効水理を調査し、既存整備計画の見直しを検討します。

### 4 住環境の整備

#### ● 木造住宅耐震診断事業 450万円

新耐震設計基準以前に建築確認を得て建築された木造住宅に対して耐震化を促進させるため、耐震診断に

要する費用の一部を補助します。

#### ● 克雪住宅推進事業 1,257万円

住宅の克雪化（融雪式・耐雪式）と宅地内消雪設備（地下水利用を除く）の設置に対し、その費用の一部を補助します。



### 5 上下水道の整備

#### ● 特定環境保全公共下水道事業 『下水道会計』 16億8,643万円

六日町地域（西泉田、東泉田、奥、余川、川窪、欠之上、青木、宇津野、四十日、四十日新道、大杉新田）、塩沢地域（台上、滝谷、宮野下、天野沢、泉盛寺、竹俣、姥島、石打）の下水道本管の布設整備を行います。上の原処理区を六日町処理区に接続するための実施設計と大和地域で新たに追加する下水処理区域の実施設計を行います。

#### ● 浄化槽市町村整備推進事業 『下水道会計』 5,870万円

下水道整備が困難な地域について合併浄化槽の導入をすすめる水質保全を図ります。

### 1 計画的な土地利用の推進

#### ● 国土調査事業 3,904万円

青木地区（青木・奥・四十日新道）

## 第4章 都市基盤

～安全・快適でつるおいのある生活ができるまち～

● 畔地浄水場中央計算機更新事業  
『水道会計』 1億5、193万円

平成21年から市内4つの簡易水道を上水道に統合し、この統合を契機として管理の一元化を目指し、畔地浄水場と旧簡易水道施設を含んだ送配水施設の集中監視を行う遠隔監視システムを、平成21～23年度で整備します。

● 旧簡易水道老朽管更新事業

『水道会計』 4、600万円  
水道水の安定供給のため、旧簡易水道施設に残存する老朽管の更新を行います。

● 機械電気設備更新事業

『水道会計』 1億1、839万円  
水道水の安定供給のため、老朽化した蓄電池設備などの更新を行います。

6 災害に強い基盤整備

● 河川管理費 1、573万円

新潟県から委託を受け、一級河川の除草を行うとともに、市管理の準用河川について、修繕工事などを実施し河川管理に努めます。

● 防災広場整備事業

3、780万円  
六日町市街地の災害時の避難場所を確保するとともに、市役所の防災機能を充実させるため、防災広場を整備します。

第5章 産業振興

豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく力強い産業のまち

1 農業の振興

● 土地改良事業

1億7、028万円  
土地改良区で実施した農道などの整備に係る償還補助を行います。

● 農業振興対策補助事業

1、646万円  
認定農業者等担い手育成確保支援事業補助、農業近代化利子補給などの支援を行い、農業振興を図ります。

● 水田農業構造改革対策推進事業

3、016万円  
的確な需要調整に取り組みとともに「安全・安心」な良質米の生産に努め、南魚沼産コシヒカリの需要拡大と競争力の強化を図ります。

● 中山間地域等直接支払事業

7、724万円  
中山間地における農業の持つ多面的機能の維持、増進を図るため自律的、且つ継続的な農業生産活動を行う45集落に支援を行います。

● 家畜指導診療所費

1、223万円  
畜産農家の経営安定のため、疾病予防指導・診療などの業務を効果的

に実施します。

2 林業の振興

● 林道開設事業（大崎水尾線）

2、599万円  
林道大崎水尾線の早期供用開始を目指し、継続して開設工事を進めます。

● 森林整備地域活動支援交付金事業

310万円  
森林施業の実施に不可欠な「施業実施区域の明確化作業」「作業歩道の整備」などの地域活動に対する支援を行います。

● 南魚沼産材で家づくり事業

1、015万円  
市内産の杉を使用して建築する住宅に対して補助することにより、地域材の利用拡大と木造住宅建築や資源循環型の森林整備の促進と林業・建築・木材産業の活性化と雇用の創出を図ります。

3 観光の振興

新規

● 観光交流拠点整備事業

1億8、128万円  
今泉博物館の有効活用と利用活性化に向け、多機能化した観光交流拠点施設としての道の駅整備を行います。

農産物・特産品の振興や観光情報の発信など、農商工観光連携による地域経済の活性化を図ります。

● 愛プロジェクト推進事業

2、500万円  
坂戸城築城500年記念イベントへの補助や市の特性を活かした誘客促進・持続的な観光振興を図るため、コンテンツ・ツーリズムを推進します。



4 商工業の振興

● 商工業振興補助事業

1、662万円  
商工会の事業運営への補助や地域商工業の活性化、商店街再生支援事業への補助を行います。

● 中小企業金融制度事業

2億6、700万円  
制度資金の預託、資金借り入れに係る信用保証料補給などの中小企業経営支援事業を行います。

● 地域産業振興事業

690万円  
地域特産品の認定推奨・販路拡大、アンテナショップの運営を行い、地域産業の振興を図ります。

## 5 雇用の促進

### ●雇用創出事業

1億4、472万円

県の交付金を活用して雇用創出に取り組みます。

### ●ふるさと雇用再生特別基金事業

4、203万円

県の基金を活用して雇用創出に取り組みます。

### ●雇用対策事業

754万円

南魚沼職業能力開発運営協会負担金として、人件費3分の2と施設負担金を支出し、職業訓練事業を支援します。

### ●企業対策事業

200万円

企業立地奨励金として、地元雇用促進のため立地企業に助成します。

## 2 市民主体のまちづくり

### ●集落振興事業

2、220万円

宝くじ収益金からの助成を受けて、行政区などに対して防犯灯設置事業や子ども神輿購入事業などを支援します。

### ●行政区事業

6、513万円

各行政区への委託業務と自主活動に対して、交付金を交付して支援します。

### ●地域コミュニティ活性化事業

5、809万円

地域としての独自性を活かし、地域コミュニティを活性化し、地域の活動拠点となる場として市内12地区の地区協議会に対し、権限と予算を移譲し、市民主体の活動を支援します。

## 第6章

### 行財政改革・市民参画

～市民と築く

あかるい自治のまち～

## 1 行財政運営の効率化

### ●庁舎整備事業

2、900万円

本庁舎方式への移行に向け、本庁舎3階や保健センターの改修工事などをを行います。

## ●消防水利整備事業

2、250万円

国の補助金を受け、耐震性貯水槽40トン3基を建設します。

### ●防災対策事業

64万円

災害に備えるため、防災技術の向上と防災意識の高揚を目的として、大和地域を主会場に総合防災訓練を実施します。

## 新規

### ●災害時緊急伝達整備事業

467万円

市民の方から携帯電話やパソコンのメールアドレスを登録いただき、全国瞬時警報システム（J-ALERT）により国から入った地震・気象警報などの情報について、夜間・休日問わずその情報を登録者に配信を行う事業を実施します。

## 4 高度情報化の推進

### ●GIS整備事業

4、389万円

平成22年度に撮影した航空写真を元に、2、500分の1地形図の修正と山間部の新規図化を行います。

### ●辺地共聴施設整備事業

5、409万円

平成23年7月24日にアナログ放送が停止され、新たに難視聴地区になる地域の対策補助を行います。

## ●固定資産税適正評価事業

2、672万円

平成22年度に撮影した航空写真を活用し土地の地目判定、家屋の外形データ判定を行い、固定資産税評価の適正化と公平化を図ります。

## 5 交流の推進

### ●交流事業

178万円

友好都市とさまざまなイベントを通し相互訪問などを行い、交流活動を推進します。

### ●国際交流と文化・スポーツ基金事業

903万円

インターナショナル・ビレッジ構想として国際大学留学生などを招き、各種講演会や交流事業を実施します。平成20年度から始めた中学生の海外ホームステイを継続し、体験活動を通じて国際交流を図ります。



## 長期借入金の状況

会計名		年度末残高見込み		
		平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増減 (A) - (B)
一般会計		371億2,727万円	369億7,150万円	1億5,577万円
下水道特別会計		331億1,719万円	332億8,769万円	△1億7,050万円
水道事業会計		144億2,270万円	154億8万円	△9億7,738万円
病院事業会計		5億4,266万円	7億818万円	△1億6,552万円
計		852億982万円	863億6,745万円	△11億5,763万円
(参考)	土地開発公社	10億6,495万円	7億5,365万円	3億1,130万円
	債務負担行為	9億263万円	11億8,982万円	△2億8,719万円

## 基金の状況

会計名		年度末残高見込み		
		平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増減 (A) - (B)
一般会計		44億9,950万円	43億251万円	1億9,699万円
内 訳	財政調整基金	25億6,699万円	25億6,599万円	100万円
	減債基金	4億3,699万円	4億3,699万円	0円
	国際交流基金	1億156万円	1億1,059万円	△903万円
	棚村基金	9,112万円	1億490万円	△1,378万円
	医師修学基金	1,145万円	1,145万円	0円
	ふるさと基金	4億円	4億円	0円
	合併振興基金	6億7,028万円	4億2,228万円	2億4,800万円
	愛プロジェクト推進基金	715万円	3,215万円	△2,500万円
	奨学金貸付基金	1億9,875万円	1億8,775万円	1,100万円
	住民生活に光をそそぐ基金	1,521万円	3,041万円	△1,520万円
国民健康保険特別会計		1,609万円	1,609万円	0円
介護保険特別会計	貸付	300万円	300万円	0円
	給付	1億8,288万円	2億6,748万円	△8,460万円
	特例	0円	1,252万円	△1,252万円
下水道特別会計		2,150万円	2,150万円	0円
水道事業会計		5,600万円	4,100万円	1,500万円
病院事業会計		2,290万円	2,290万円	0円
合計		48億187万円	46億8,700万円	1億1,487万円